



とみぐすくネットワークセンター TOMIGUSUKU NETWORK CENTER

1. 東面市道 39 号線側外観。2. 2 階休憩テラス。3. 東面市道 39 号線側外観（夜景）。4. 通信機械設備と IT 装置用床置型空調設備の搬入バルコニーを見上げる。5. 西面隣地側外観。

■ 施設概要

建 築 主	沖縄セルラー電話株式会社
所 在 地	沖縄県豊見城市字嘉数
敷 地 面 積	3,404.00 m ²
建 築 面 積	1,603.39 m ²
延 べ 面 積	4,433.12 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造、 一部 壁式鉄筋コンクリート造
階 数	地上 3 階
最 高 高 さ	16.58m
駐 車 場	14 台
竣 工	2016.02
設 計 監 理	国建・日建設計 J V

■ コンセプト

本施設は、豊見城市嘉数高台の閑静な住宅街に建つ、通信交換施設である。2008 年、南城市に竣工した南城 NC（ネットワークセンター）との 2 拠点化による相互バックアップ態勢を構築するため建設された。

外観は、周辺の住宅環境に配慮し、壁面後退やボリュームの分節化により圧迫感を与えないヒューマンスケールなデザインを意識した。エントランス外壁は琉球石灰岩張りとし、ベージュ色を基調とする柔らかな色調とした。一部、アルミスパンドレルを採用することで建物の表情に変化を与えた。

施設の安全性と信頼性を確保する為、高強度の耐震構造とした。電力・通信引込ルートは 2 系統を確保し、非常用発電と蓄電池・無停電装置による電力バックアップ設備とした。また、監視制御設備は本社や南城 NC との連携が可能な遠隔監視とした。

その他、LED 照明や雨水利用システムの導入、通信機械室周囲に非空調のメンテナンススペースを設け、外部熱負荷を緩和するなど施設の省エネルギー化に取り組んだ。